

## 2024年度 第3四半期 決算

- I. 2024年度 第3四半期 決算概要
- II. 2024年度 第3四半期累計決算概要
- III. 2024年度 通期 業績予想
- IV. 補足資料

シャープ株式会社  
2025年2月7日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。  
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、  
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

# 連結業績概要

- ・ 第3四半期のブランド事業の売上高は、3セグメントすべてが増収となり、前年同期を上回る。  
営業利益も、円安によるマイナス影響があるなか、全セグメントで増益を達成。  
デバイス事業は減収となったものの、  
ディスプレイ事業の構造改革を進めた効果があり、営業赤字は大幅に縮小。  
全社トータルで、売上高は減収となったものの、  
営業利益は、第2四半期からさらに改善し、前年同期比では8.8倍となる。
- ・ 経常利益・最終利益は、営業外損失として、為替差損が発生したこと、特別損失として、アセットライトに関連する減損損失、事業構造改革費用を計上したことから、減益となる。
- ・ 第3四半期までの業績を考慮し、通期の業績予想の見直しを行った。  
(売上高: 2兆1,300億円、営業利益: 200億円、経常利益: 10億円、最終利益: 非公表も黒字を見込む)

**SHARP**

1

- ・ 最初は、連結業績の概要になります。
- ・ 第3四半期のブランド事業の売上高は、3セグメントすべてが増収となり、前年同期を上回りました。  
営業利益については、円安によるマイナス影響があるなか、全セグメントで増益を達成しております。  
  
デバイス事業は減収となったものの、ディスプレイ事業の構造改革を進めた効果があり、営業赤字は大幅に縮小しました。  
  
その結果、全社トータルで、売上高は減少したものの、営業利益は、第2四半期からさらに改善しており、前年同期比では約8.8倍となっています。
- ・ 経常利益・最終利益は、営業外損失として、為替差損が発生したこと、特別損失として、アセットライトに関連する減損損失、事業構造改革費用を計上したことなどから、減益となりました。
- ・ また、第3四半期までの業績を考慮し、通期の業績予想を見直しております。

# I . 2024年度 第3四半期 決算概要

- ・ まず、2024年度 第3四半期の実績について、ご説明させていただきます。

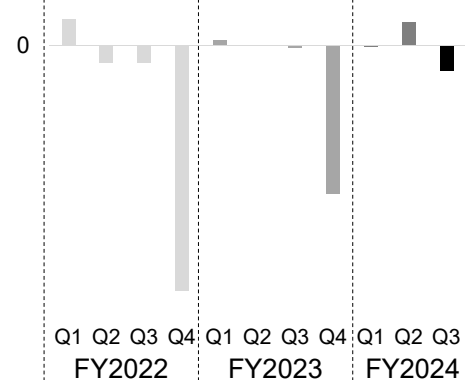
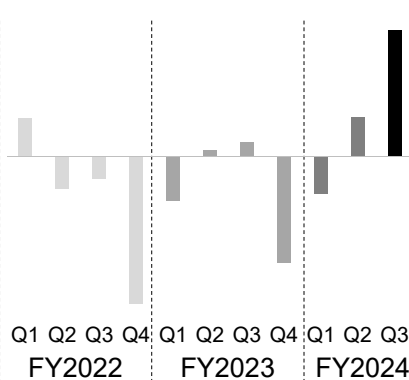
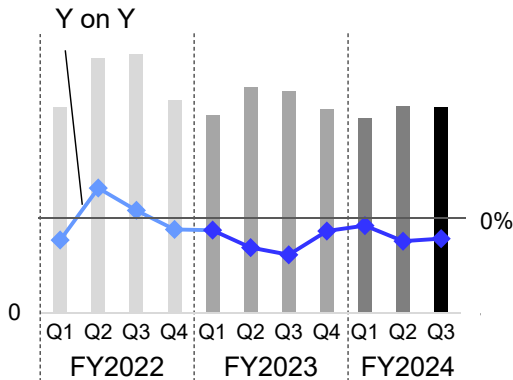
# 2024年度 第3四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	561.5	-7.4%
営業利益	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	+777.2%
経常利益	-0.5 (-0.1%)	3.5 (0.6%)	3.5 (0.6%)	-13.6 (-2.5%)	-10.1 (-1.9%)	11.6 (2.1%)	-0.6 (-0.1%)	-
最終利益	5.5 (1.0%)	-0.5 (-0.1%)	-2.9 (-0.5%)	-152.0 (-27.3%)	-1.2 (-0.2%)	24.2 (4.3%)	-26.5 (-4.7%)	-
平均為替レート								
ドル円	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89	149.32	152.44	
ユーロ円	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88	163.95	162.59	

売上高

営業利益

最終利益

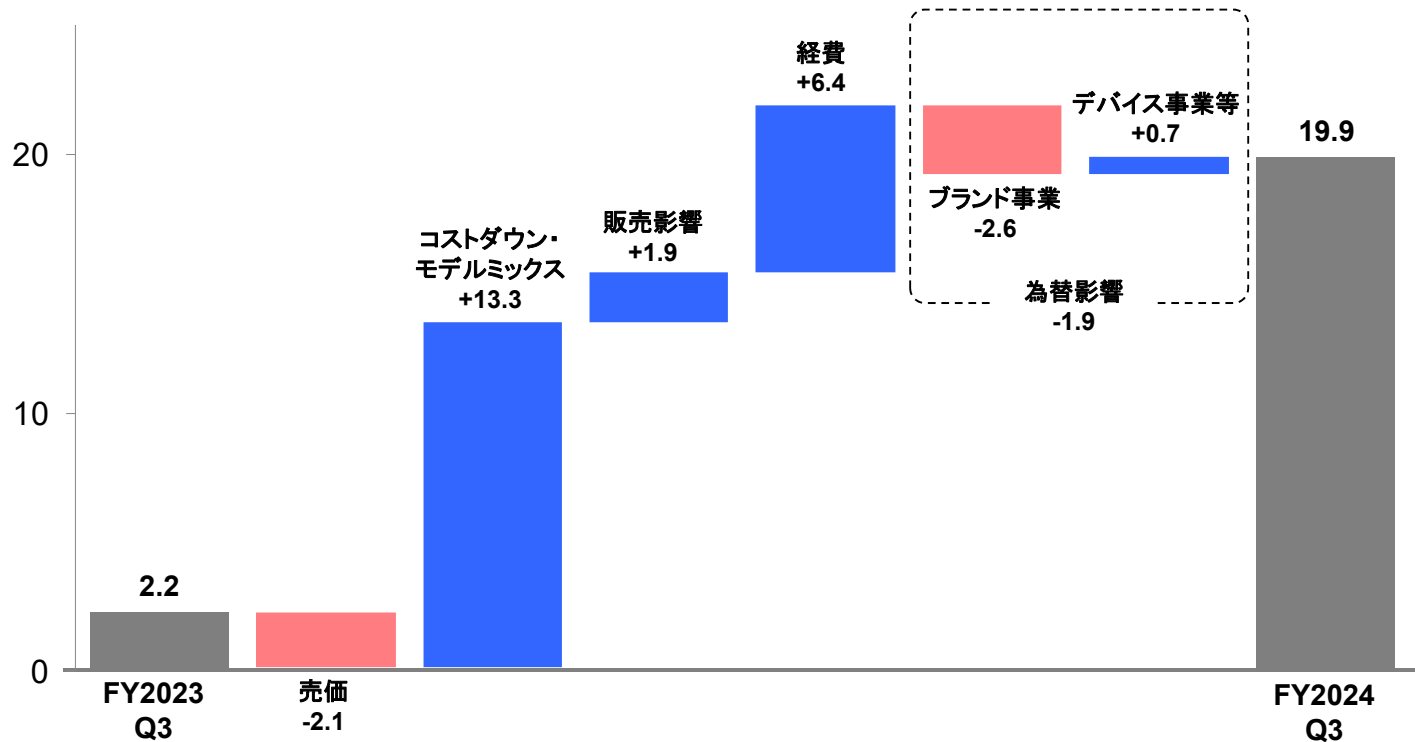


SHARP

- ・ 次のスライドをご覧ください。第3四半期の業績です。
- ・ 売上高は、5,615億円となりました。
- ・ 利益につきましては、営業利益は 199億円、経常損失が 6億円、最終損失が 265億円となっております。

# 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)  
(単位:十億円)



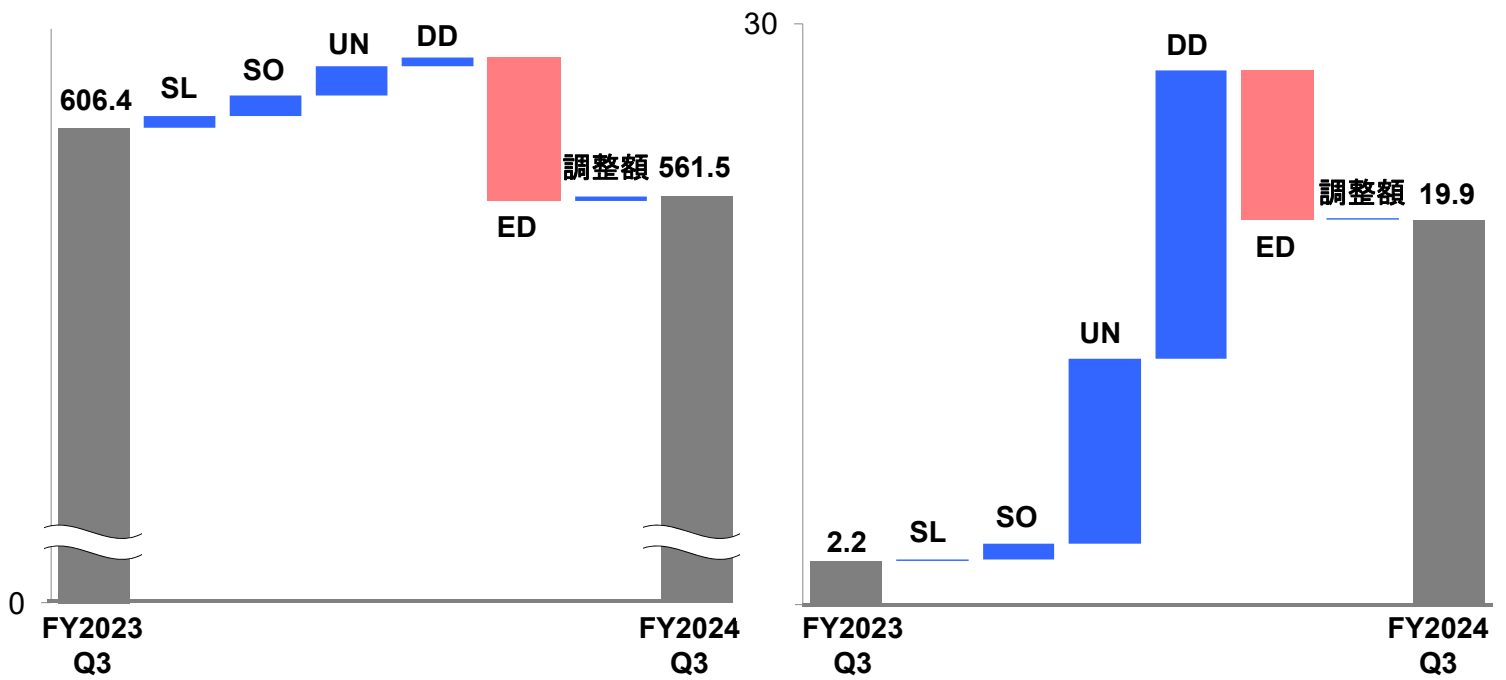
- ・ 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

# セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)



SHARP

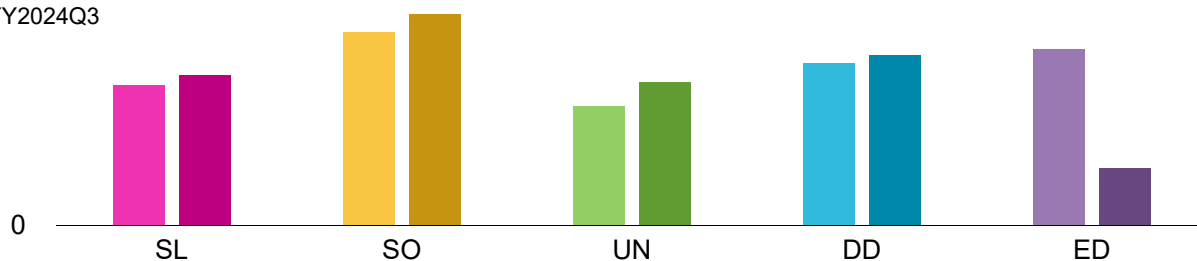
5

- ・ 次のスライドをご覧ください。  
売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめています。
- ・ 顧客需要が変動した影響が大きかったエレクトロニックデバイスのみが減収減益となり、その他の4セグメントはいずれも増収増益となりました。

# セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6	116.4	+6.5%
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9	163.8	+9.0%
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6	111.5	+20.5%
ブランド事業	301.5	345.0	352.1	347.6	346.6	366.2	391.8	+11.3%
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6	132.0	+4.5%
エレクトロニックデバイス	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2	44.4	-67.6%
デバイス事業	250.8	283.2	263.3	218.7	195.1	205.8	176.5	-33.0%
小計	552.4	628.2	615.5	566.3	541.8	572.1	568.3	-7.7%
調整額	-11.1	-11.2	-9.1	-9.1	-9.8	-7.6	-6.8	-
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	561.5	-7.4%

左棒：FY2023Q3  
右棒：FY2024Q3



**SHARP**

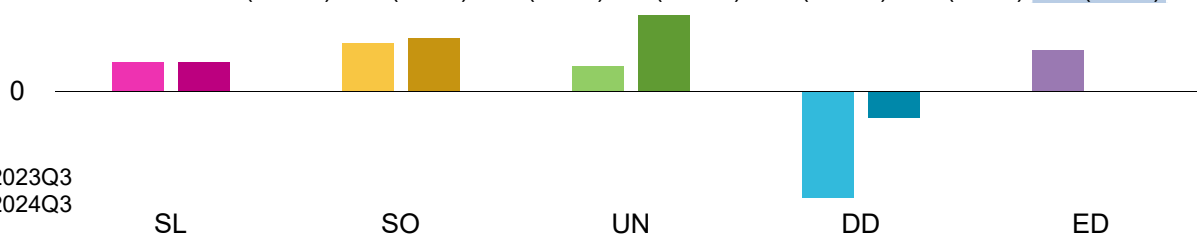
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

6

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は、前年同期比 11.3%増の 3,918億円となりました。一方、デバイス事業は、33.0%減の 1,765億円となりました。

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	7.0 (6.4%)	7.4 (6.2%)	5.3 (4.9%)	7.8 (6.9%)	4.7 (4.3%)	3.5 (3.1%)	5.4 (4.7%)	+1.2%
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	9.8 (5.6%)	9.8 (6.0%)	+9.2%
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)	14.1 (12.7%)	+204.9%
ブランド事業	11.9 (4.0%)	15.5 (4.5%)	19.0 (5.4%)	19.8 (5.7%)	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)	+54.7%
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-7.6 (-5.4%)	-4.8 (-3.7%)	-
エレクトロニックデバイス	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)	-0.1 (-0.3%)	-
デバイス事業	-15.3 (-6.1%)	-9.9 (-3.5%)	-12.2 (-4.6%)	-32.6 (-14.9%)	-15.0 (-7.7%)	-5.1 (-2.5%)	-5.0 (-2.8%)	-
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)	+258.0%
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1	-4.4	-4.5	-
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)	+777.2%



左棒 : FY2023Q3  
右棒 : FY2024Q3

**SHARP**

※()内の数字は営業利益率です。

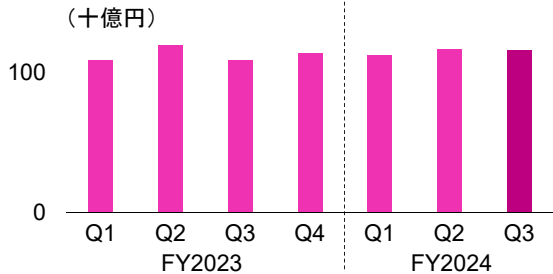
7

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業の営業利益は、前年同期比 54.7%増の 294億円となりました。  
一方、デバイス事業は、前年同期の122億円の赤字に対し、72億円改善し、50億円の赤字となっております。



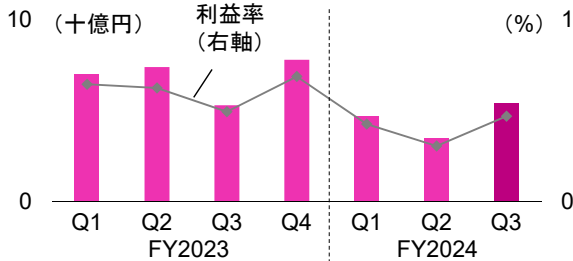
(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6	116.4	+6.5%
営業利益 (利益率)	7.0 (6.4%)	7.4 (6.2%)	5.3 (4.9%)	7.8 (6.9%)	4.7 (4.3%)	3.5 (3.1%)	5.4 (4.7%)	+1.2%

売上高(増収)



- (増) ASEANで大型・高付加価値モデルへシフトが進んだ冷蔵庫が大きく伸長し、洗濯機も堅調に推移
- (増) 欧米で調理家電が大きく伸長
- (増) 国内でCMなどプロモーションを強化した効果もあり、空気清浄機が伸長
- (増) エネルギーソリューション事業では、国内のEPCが伸長
- (減) 国内で冷蔵庫などの需要が低調
- (減) エネルギーソリューション事業では、欧州の市況が低迷

営業利益(増益)



- (増) 販売増
- (増) 各事業で高付加価値化が進展
- (増) コストダウン
- (減) 円安影響



・ 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。

・ 売上高は、白物家電事業、エネルギーソリューション事業とも増収となり、前年同期比 6.5%増の 1,164億円となりました。

白物家電事業は、国内がほぼ横ばい、海外が大幅な増収となりました。

国内では、

CMなどのプロモーションを強化した効果もあり、空気清浄機が伸長した一方、需要が低調だった冷蔵庫などが前年同期に及びませんでした。

海外は、全地域で増収となりました。

ASEANでは、大型・高付加価値モデルへのシフトにより冷蔵庫が大きく伸長し、洗濯機も堅調に推移しました。また、欧米の調理家電も好調でした。

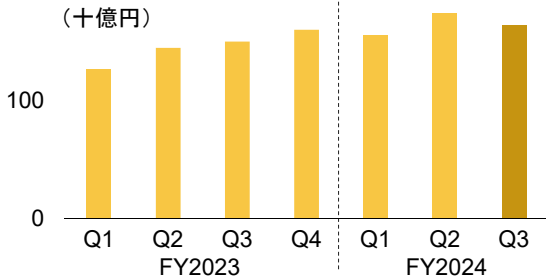
エネルギーソリューション事業では、市況低迷の影響から海外の売上が減少しましたが、国内のEPCなどが前年同期を上回りました。

・ 営業利益は、1.2%増の 54億円となりました。

高付加価値化やコストダウンの進展により、円安が進む中でも増益を確保し、引き続き、安定した利益を計上できております。

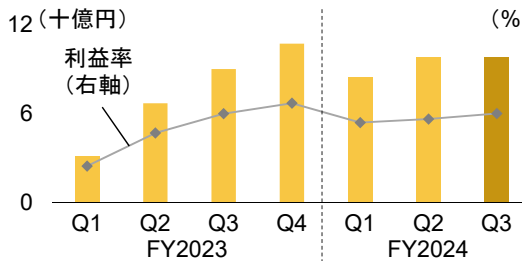
(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9	163.8	+9.0%
営業利益 (利益率)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	9.8 (5.6%)	9.8 (6.0%)	+9.2%

売上高(増収)



- (増) PC事業では、法人向けプレミアムモバイルモデルが、引き続き好調、LCM※機能を強化した効果もあり、法人向けの売上が大きく伸長
- (増) 日本のオフィスソリューションや中国の情報ディスプレイが伸長
- (減) 米州のMFPや情報ディスプレイの競争環境が激化

営業利益(増益)



- (増) 売上増
- (増) PC事業の高付加価値化
- (増) インフォメーションディスプレイ事業は構造改革が進み安定的に利益を計上

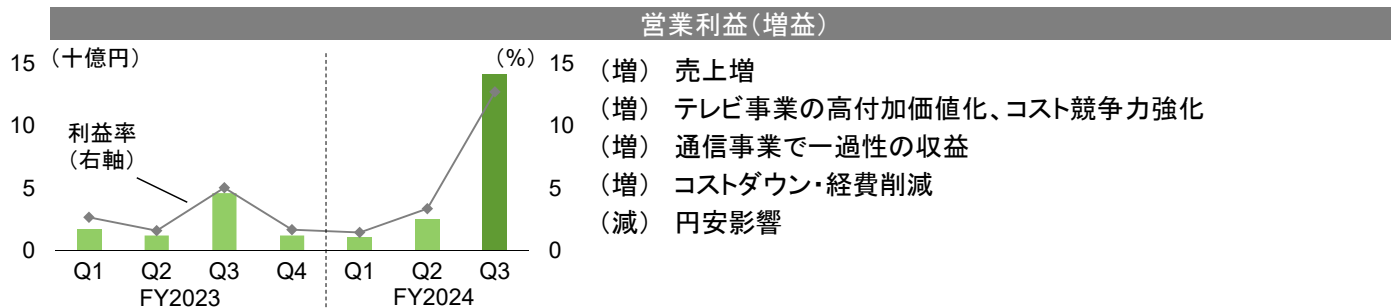
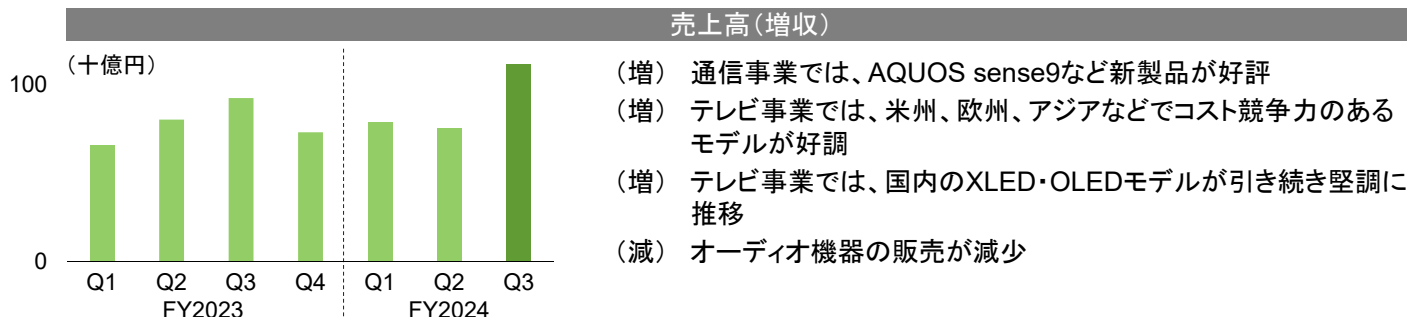
※Life Cycle Management

PCの選定・調達・導入・展開・運用・保守・撤去・更新までをトータルで請け負うサービス



- 次は、スマートオフィスです。
- 売上高は、PC事業が増収、ビジネスソリューション事業が減収となり、前年同期比 9.0%増の 1,638億円となりました。  
 ビジネスソリューション事業では、国内は前年同期を上回ったものの、海外が減収となりました。  
 国内では、MFPがほぼ横ばい、インフォメーションディスプレイが減収、オフィスソリューションが増収となりました。  
 海外では、競争環境が激化した米州のMFPやインフォメーションディスプレイなどが減収となりました。  
 PC事業では、引き続き、法人向けプレミアムモバイルモデルが好調で、マネジメントサービスも拡大したことから、国内法人向けを中心に大幅な増収となりました。
- 営業利益は、9.2%増の 98億円となりました。  
 売上高が伸長したこと、PC事業の高付加価値化が進んでいることに加え、構造改革が進展しているインフォメーションディスプレイ事業も、安定的に利益を計上していることから、増益となりました。

(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6	111.5	+20.5%
営業利益 (利益率)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)	14.1 (12.7%)	+204.9%



・ 次は、ユニバーサルネットワークになります。

・ 売上高は、テレビ事業・通信事業とも増収となり、前年同期比 20.5%増の 1,115億円となりました。

テレビ事業は、国内外とも増収となりました。

国内では、XLED・OLEDモデルが引き続き堅調に推移しました。

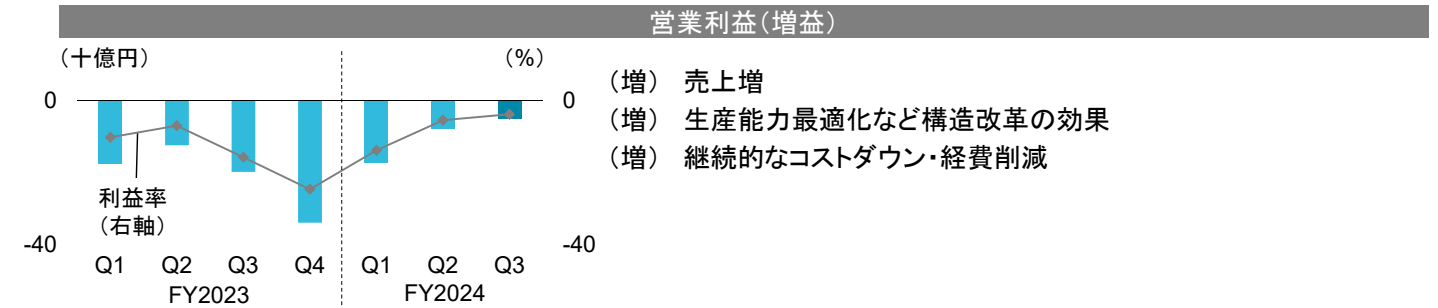
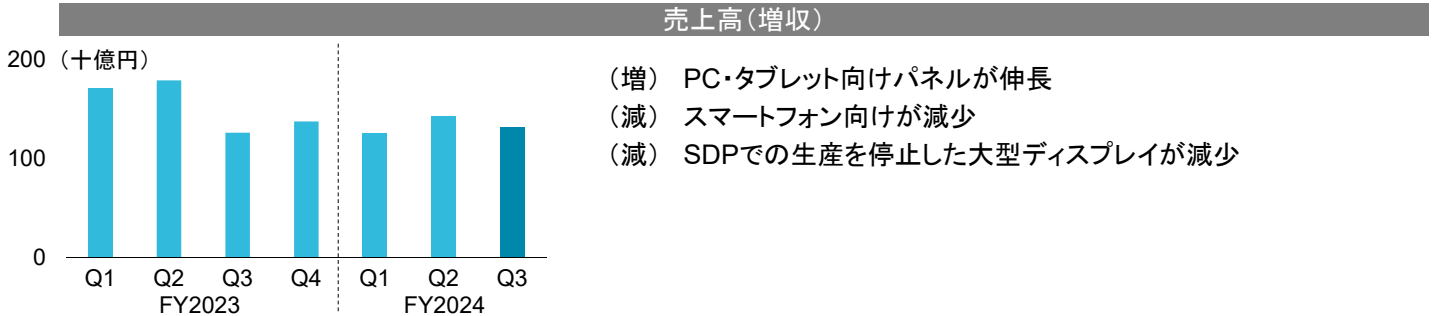
海外では、米州、欧州、アジアなどでコスト競争力のあるモデルが好調でした。

通信事業は、AQUOS sense9など新製品が好評で、大幅な増収となりました。

・ 営業利益は、前年同期比 204.9%増の141億円となりました。

売上の増加やコストダウン・経費削減の進展により、増益となっていたことに加え、一過性の収益も発生したことから、営業利益は大きく伸長しました。

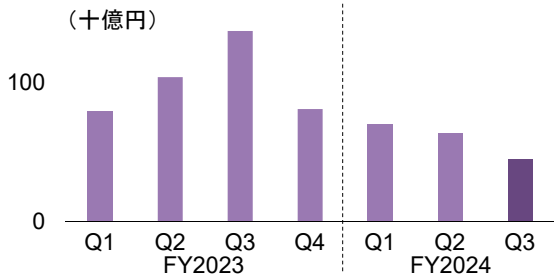
(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6	132.0	+4.5%
営業利益	-17.3	-12.3	-19.7	-33.8	-17.1	-7.6	-4.8	-
(利益率)	(-10.1%)	(-6.9%)	(-15.6%)	(-24.6%)	(-13.7%)	(-5.4%)	(-3.7%)	



- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 4.5%増の 1,320億円となりました。  
スマートフォン向けディスプレイや大型ディスプレイは減収となったものの、PC・タブレット向けディスプレイが伸長しました。
- ・ 営業利益については、前年同期の197億円の赤字に対して、149億円改善し、48億円の赤字となりました。  
売上が増加したことに加え、生産能力の最適化などの構造改革を進めた効果もあり、赤字が大幅に縮小しています。

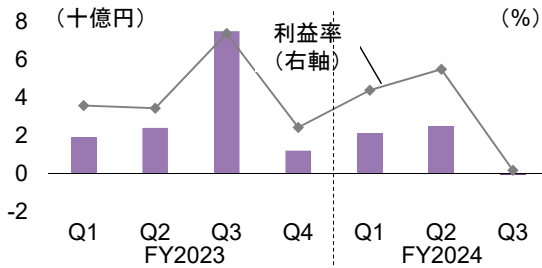
(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2	44.4	-67.6%
営業利益 (利益率)	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)	-0.1 (-0.3%)	-

売上高(減収)



(減) センサーモジュールの顧客需要が変動  
 (増) 2024年より新たに量産を開始した車載用や新製品の受注を獲得した加工用の半導体レーザーが大きく伸長

営業利益(減益)



(減) センサーモジュールの販売減  
 (増) 経費削減  
 (増) 円安効果



・ 次は、エレクトロニックデバイスです。

・ 売上高は、前年同期比 67.6%減の 444億円となりました。

2024年より新たに量産を開始した車載用や新製品の受注を獲得した加工用の半導体レーザーなどは伸長しましたが、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響が大きく、大幅な減収となりました。

・ 営業利益は、売上が大きく減少したことから、1億円の赤字となりました。

# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2023				FY2024			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y 増減額
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8	6.2	19.9	+17.7
営業外損益	+6.5	+2.3	+1.2	+3.0	-4.3	+5.3	-20.5	-21.7
内:支払利息	-2.9	-2.6	-2.5	-2.6	-2.6	-2.1	-3.0	-0.5
為替差損益	+6.2	+2.9	+0.4	+3.7	-7.4	+4.3	-17.5	-17.9
投資関連収益・費用	+0.2	+0.3	+0.3	+0.1	+0.2	+0.8	+0.3	+0.0
持分法による投資損益	+1.3	+2.4	+2.9	+1.5	+2.3	+2.4	+1.4	-1.5
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1	11.6	-0.6	-4.1
特別損益	+9.3	-0.9	-3.4	-135.4	+11.7	+18.2	-22.1	-18.7
内:投資有価証券売却益	-	+0.1	-	-	+10.1	+18.1	-	-
固定資産売却益	+0.5	+2.0	+0.6	+0.3	+0.0	+0.0	+1.8	+1.2
段階取得に係る差益	+1.3	-	-	-	-	+0.7	-	-
持分変動利益	+4.2	-	-	-	+2.7	-	+1.8	+1.8
債務取崩益	+4.8	-	-	-	+3.5	-	+0.8	+0.8
受取補償金	-	-	-	-	-	+3.8	-0.0	-0.0
事業構造改革費用	-	-0.6	-0.2	-10.8	-3.4	+1.0	-8.8	-8.6
減損損失	-1.4	-1.8	-1.0	-117.9	-1.2	-5.6	-17.2	-16.2
事業売却損	-	-	-2.3	-	-	-	-	+2.3
受注生産中止に伴う損失	-	-	-	-4.7	-	-	-	-
税前利益	8.8	2.6	0.0	-149.1	1.6	29.8	-22.7	-22.7
法人税等 他	-3.2	-3.2	-3.0	-2.8	-2.8	-5.6	-3.7	-0.7
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2	24.2	-26.5	-23.6

SHARP

13

- ・ 次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 第3四半期には、営業外損失として、175億円の「為替差損」が発生しました。これは、円安が進んだことに加え、デバイス事業において、今後の販売減少を考慮し、一部の前受金を債務と認識したことに伴い、為替の評価替えを行ったことによるものです。

また、特別損失として、カメラモジュール事業に係る「減損損失」やグリーンフロント堺に係る「構造改革費用」など、アセットライト化に関連する損失なども計上しています。

# 連結貸借対照表推移

・現預金は 2,457億円、純資産は 1,609億円、自己資本比率は 9.3%となる

(単位:十億円)

	FY2023	FY2024			FY2023	FY2024	
	3月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末
現預金	227.1	248.8	245.7	買掛金等	355.2	335.9	339.3
売掛金等	407.5	408.0	423.2	短期借入金	115.9	122.1	136.3
棚卸資産	269.5	272.0	267.8	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	85.9	72.7	86.5	その他	385.1	368.4	395.0
<b>流動資産計</b>	<b>990.2</b>	<b>1,001.7</b>	<b>1,023.4</b>	<b>流動負債計</b>	<b>856.3</b>	<b>826.4</b>	<b>870.7</b>
有形固定資産	280.1	271.2	256.4	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	31.0	34.2	38.2	長期借入金	457.6	456.7	417.1
投資その他資産	288.5	243.6	254.8	その他	118.6	122.5	124.1
<b>固定資産計</b>	<b>599.8</b>	<b>549.1</b>	<b>549.4</b>	<b>固定負債計</b>	<b>576.2</b>	<b>579.3</b>	<b>541.2</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,590.0</b>	<b>1,550.9</b>	<b>1,572.9</b>	<b>純資産</b>	<b>157.4</b>	<b>145.0</b>	<b>160.9</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>1,590.0</b>	<b>1,550.9</b>	<b>1,572.9</b>
期末日レート							
ドル円	151.40	142.82	158.17	自己資本比率	9.0%	8.4%	9.3%
ユーロ円	163.28	159.53	164.86	自己資本	142.4	129.9	145.6

**SHARP**

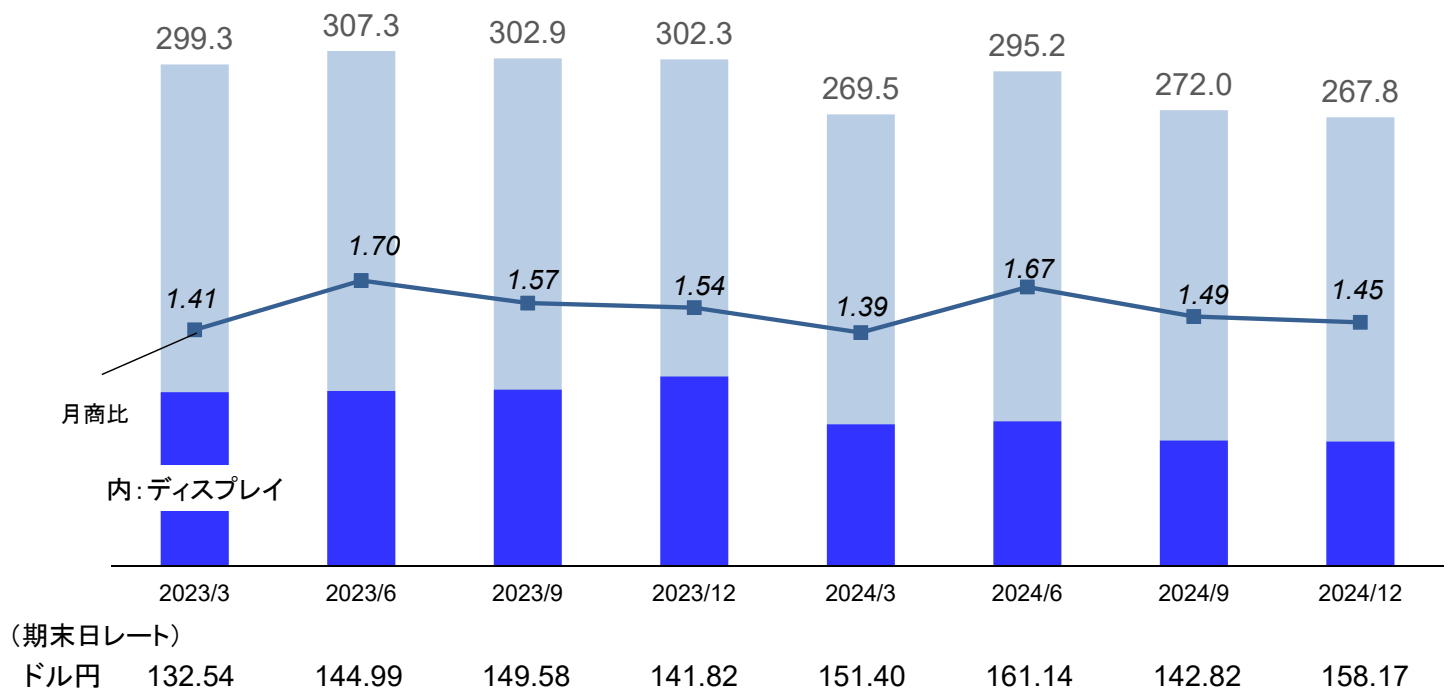
14

- ・次は、貸借対照表の推移です。
- ・「現預金」は、2024年9月末の 2,488億円に対し、2,457億円に、  
「純資産」は 1,450億円に対し、1,609億円に、  
「自己資本比率」は、8.4%に対し、9.3%になりました。

# 棚卸資産の推移

・棚卸資産は、9月末の2,720億円に対し、2,678億円に減少

(単位:十億円、ヶ月)



SHARP

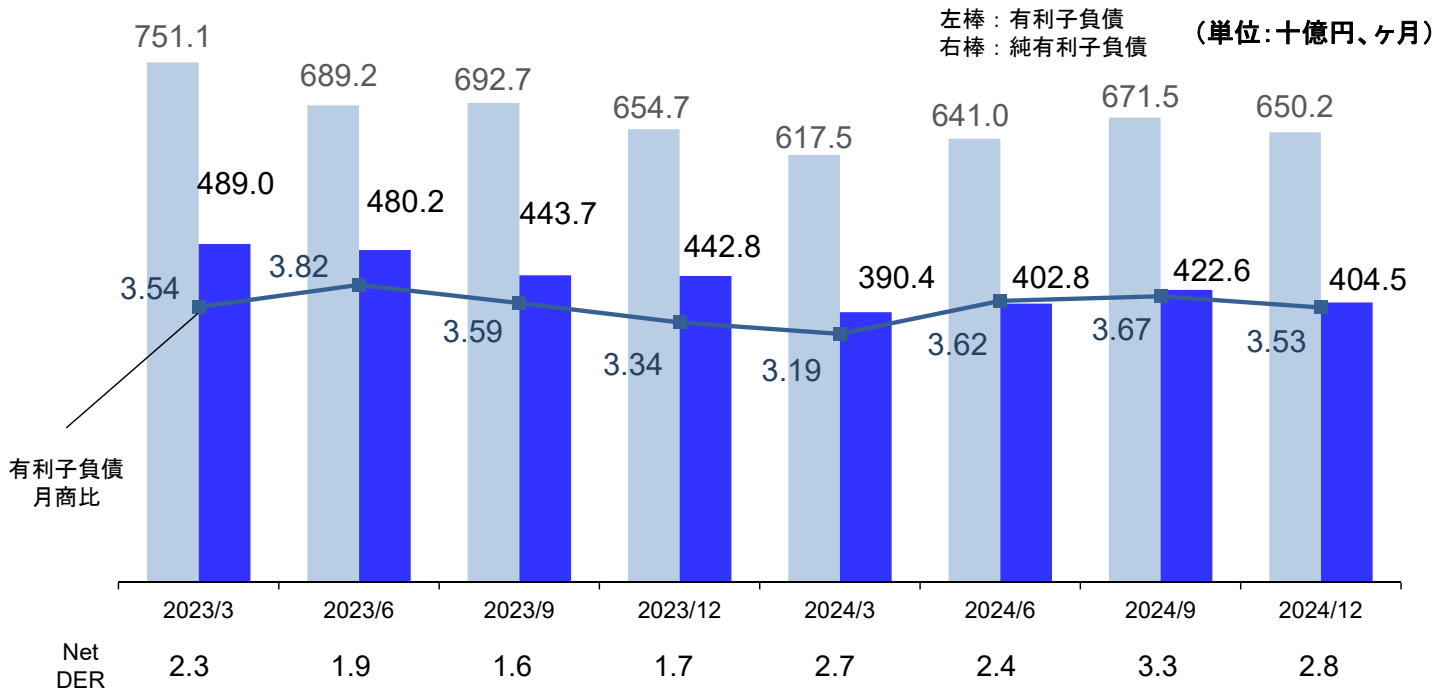
15

- ・次は、棚卸資産の推移になります。
- ・棚卸資産は、9月末の2,720億円に対し、2,678億円に減少しています。  
前年同期末と比較しても、減少しており、  
今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。



# 有利子負債の推移

・純有利子負債は、9月末の4,226億円に対し、4,045億円に改善



**SHARP**

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

16

- ・次は、有利子負債の推移です。
- ・純有利子負債は、9月末の4,226億円に対し、4,045億円に改善しています。

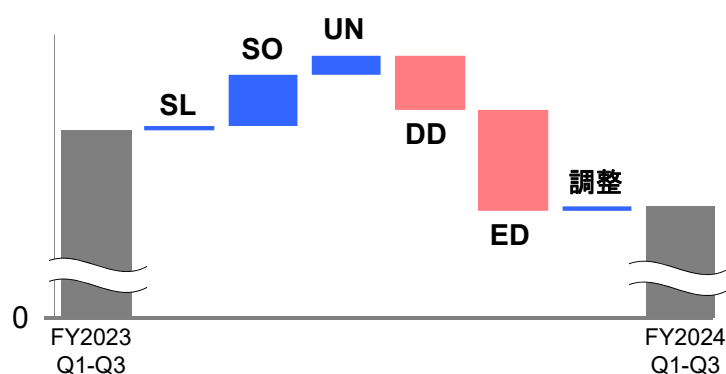
## Ⅱ. 2024年度 第3四半期累計 決算概要

- ・ 次は、2024年度 第3四半期までの累計の実績になります。

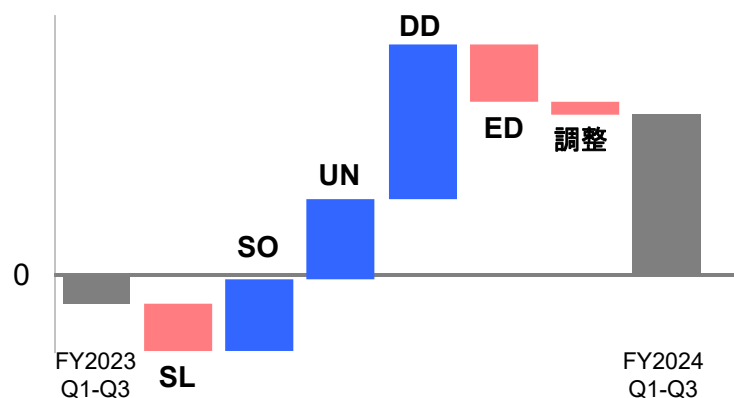
# 2024年度 第3四半期累計 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2023	FY2024	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
売上高	1,764.7	1,657.9	-6.0%
営業利益	-3.5 (-0.2%)	20.3 (1.2%)	-
経常利益	6.5 (0.4%)	0.8 (0.1%)	-87.4%
最終利益	2.0 (0.1%)	-3.5 (-0.2%)	-
平均為替レート			
ドル円	143.29	152.55	
ユーロ円	155.28	164.80	

売上高



営業利益

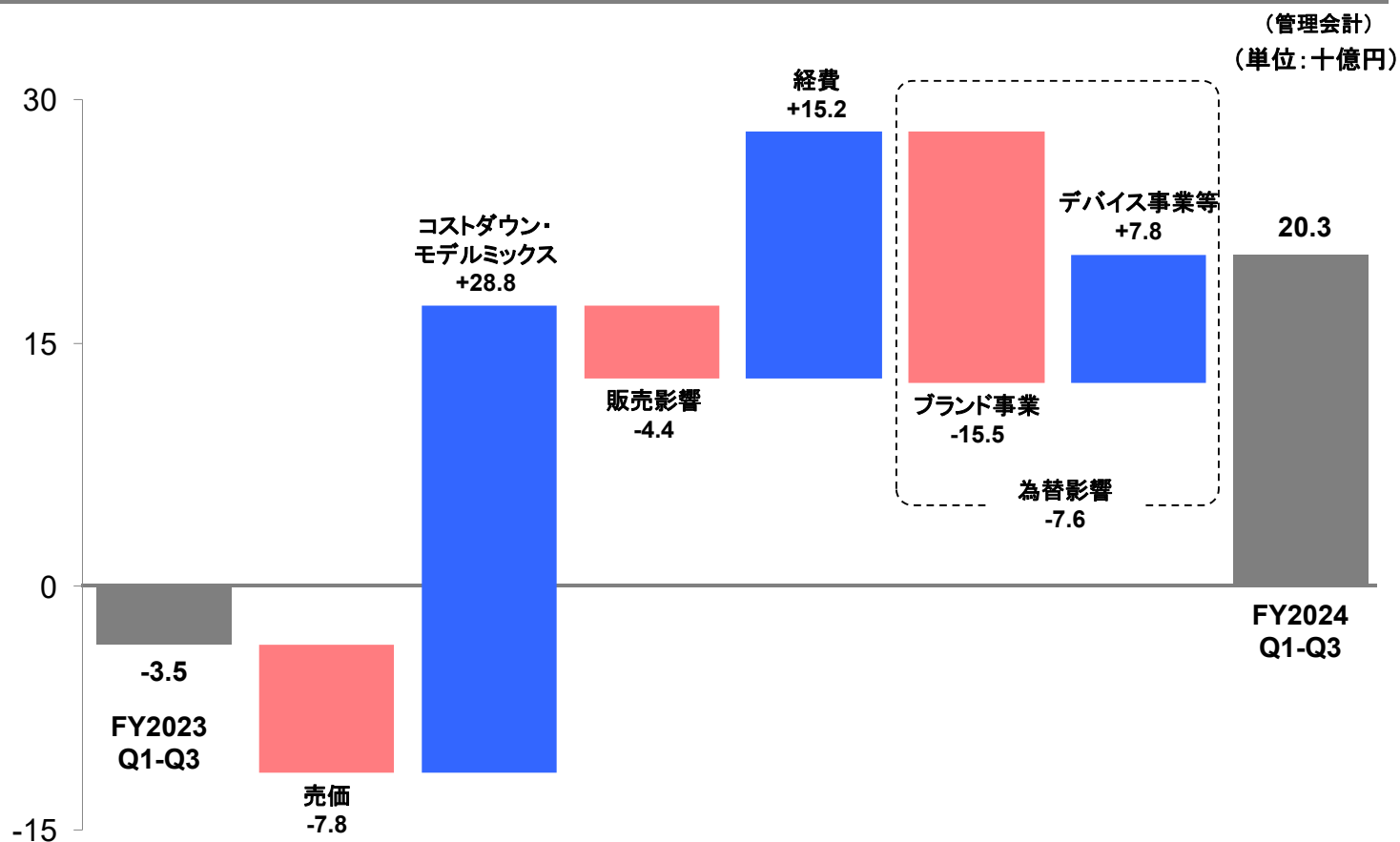


SHARP

18

- ・ 次のスライドをご覧ください。第3四半期までの累計の業績です。
- ・ 売上高は、1兆6,579億円となりました。
- ・ 利益については、営業利益は 203億円、経常利益は 8億円、最終損失が 35億円となっております。

# 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

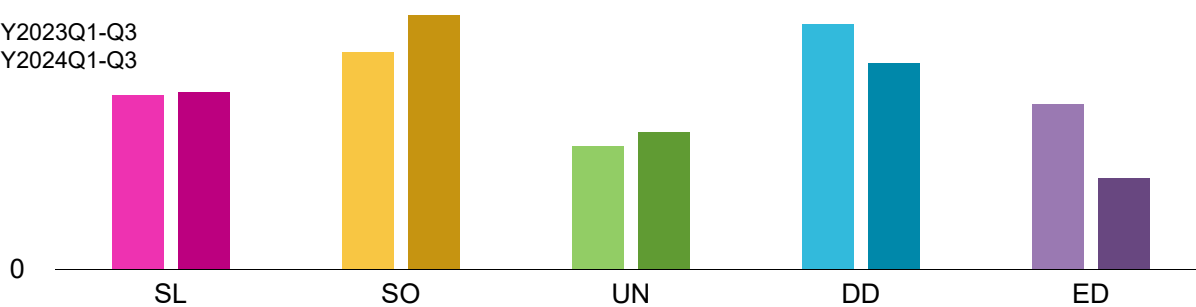


- ・ 次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

# セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2023	FY2024	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	338.3	345.4	+2.1%
スマートオフィス	421.7	493.5	+17.0%
ユニバーサルネットワーク	238.6	265.8	+11.4%
ブランド事業	998.8	1,104.7	+10.6%
ディスプレイデバイス	477.0	400.0	-16.2%
エレクトロニックデバイス	320.3	177.5	-44.6%
デバイス事業	797.4	577.6	-27.6%
小計	1,796.2	1,682.3	-6.3%
調整額	-31.5	-24.4	-
合計	1,764.7	1,657.9	-6.0%

左棒：FY2023Q1-Q3  
右棒：FY2024Q1-Q3



**SHARP**

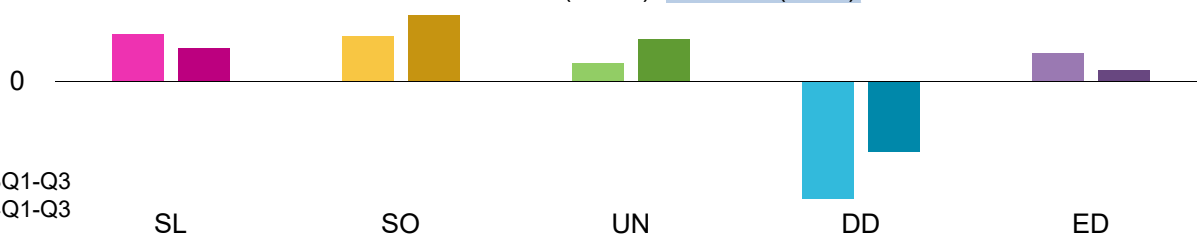
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

20

- ・ 次は、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ 第3四半期までの累計でも、ブランド事業は 全セグメントで売上高が伸長し、2桁の増収となっております。

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2023	FY2024	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	19.9 (5.9%)	13.8 (4.0%)	-30.7%
スマートオフィス	18.9 (4.5%)	28.0 (5.7%)	+48.1%
ユニバーサルネットワーク	7.6 (3.2%)	17.8 (6.7%)	+132.8%
ブランド事業	46.5 (4.7%)	59.6 (5.4%)	+28.3%
ディスプレイデバイス	-49.4 (-10.4%)	-29.7 (-7.4%)	-
エレクトロニックデバイス	11.9 (3.7%)	4.5 (2.6%)	-61.6%
デバイス事業	-37.5 (-4.7%)	-25.1 (-4.4%)	-
小計	9.0 (0.5%)	34.5 (2.1%)	+282.9%
調整額	-12.6	-14.1	-
合計	-3.5 (-0.2%)	20.3 (1.2%)	-



**SHARP**

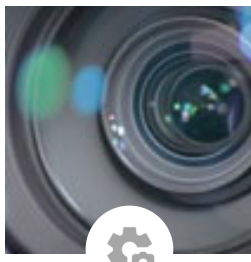
※()内の数字は営業利益率です。

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ブランド事業は、前年同期比 28.3%増と大幅な増益となっており、営業利益率は 5.4%まで上昇しています。

### Ⅲ. 2024年度 通期 業績予想

- ・ 最後は、2024年度の通期 業績予想です。

# 2024年度の重点取り組み(アセットライト化)



カメラモジュール事業  
(シャープセンシングテクノロジー㈱)



半導体事業  
(シャープ福山レーザー㈱)



グリーンフロント堺

## ①カメラモジュール事業

12月27日に譲渡に関する契約を  
鴻海子会社と締結、FY2025Q1中の  
クロージングを予定

## ②半導体事業

FY2024中の契約締結に向け、  
鴻海と継続協議中

## (SDP液晶工場及び関連施設)

### ①ソフトバンク株式会社

FY2024中の譲渡完了を予定

### ②KDDI株式会社

基本合意書を締結し、2025年4月までの  
譲渡実行に向けて詳細協議中

## (本社工場棟)

### ③積水化学工業株式会社

1月30日に売却契約を締結、  
2025年10月に譲渡予定

- ・ まず、2024年度の重点取り組みであるアセットライト化の進捗状況です。
- ・ カメラモジュール事業と半導体事業に関して、カメラモジュール事業では、12月27日に鴻海の子会社であるFullertain社と譲渡に関する契約を締結しており、2025年度 第1四半期でのクロージングを予定しています。  
また、半導体事業でも、2024年度中の契約締結に向け、鴻海と継続協議中です。
- ・ 一方、グリーンフロント堺では、SDP液晶工場及び関連施設について、ソフトバンクに対しては、2024年度中の譲渡完了を予定しており、KDDIとも、基本合意書を締結し、2025年4月までの譲渡実行に向けて詳細を協議しています。  
さらに、本社工場棟について、1月30日に積水化学工業と売却契約を締結しており、2025年10月での譲渡を予定しています。



# 2024年度 通期 業績予想

2024年度は、2021年度以来、3年ぶりとなる最終黒字を達成できる見込み。

最終利益の通期予想は、グリーンフロント堺の土地・建屋のソフトバンク株式会社への譲渡に伴う収益や、アセットライト化やディスプレイ事業の構造改革に関連する費用などを合理的に算定することが可能となった時点で公表。

(単位:十億円)

	FY2023	FY2024			
	通期	通期 前回予想	通期 今回予想	前年比	修正額
売上高	2,321.9	2,100.0	2,130.0	-8.3%	+30.0
営業利益 (利益率)	-20.3 (-0.9%)	10.0 (0.5%)	20.0 (0.9%)	-	+10.0
経常利益 (利益率)	-7.0 (-0.3%)	10.0 (0.5%)	1.0 (0.0%)	-	-9.0
最終利益 (利益率)	-149.9 (-6.5%)	5.0 (0.2%)	- (黒字見込)	-	-
平均為替レート					
ドル円	144.62	150.00	153.00		
ユーロ円	156.79	160.00	163.00		

**SHARP**

24

- ・ 次のスライドは2024年度の通期 業績予想になります。
- ・ 第3四半期までの実績を考慮し、売上高と営業利益については、それぞれ2兆1,300億円と200億円に上方修正、経常利益は、10億円に下方修正しております。

また、最終利益については、2024年度は、2021年度以来、3年ぶりに黒字を達成できる見込みです。

最終利益の通期予想は、グリーンフロント堺の土地・建屋のソフトバンクへの譲渡に伴う収益や、アセットライト化やディスプレイ事業の構造改革に関連する費用などを合理的に算定することが可能となった時点で、改めて公表させていただきます。

- ・ ご清聴ありがとうございました。

## IV. 補足資料

# 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4	1,033.6	2,130.0
営業利益	-5.8	-14.4	-20.3	0.4	19.6	20.0
(利益率)	(-0.5%)	(-1.2%)	(-0.9%)	(0.0%)	(1.9%)	(0.9%)
経常利益	3.0	-10.1	-7.0	1.4	-0.4	1.0
(利益率)	(0.3%)	(-0.9%)	(-0.3%)	(0.1%)	(-0.0%)	(0.0%)
最終利益	4.9	-154.9	-149.9	22.9	-	-
(利益率)	(0.4%)	(-13.3%)	(-6.5%)	(2.1%)		(黒字見込)

SHARP

S-2

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	561.5
営業利益	-7.0	1.1	2.2	-16.7	-5.8	6.2	19.9
(利益率)	(-1.3%)	(0.2%)	(0.4%)	(-3.0%)	(-1.1%)	(1.1%)	(3.5%)
経常利益	-0.5	3.5	3.5	-13.6	-10.1	11.6	-0.6
(利益率)	(-0.1%)	(0.6%)	(0.6%)	(-2.5%)	(-1.9%)	(2.1%)	(-0.1%)
最終利益	5.5	-0.5	-2.9	-152.0	-1.2	24.2	-26.5
(利益率)	(1.0%)	(-0.1%)	(-0.5%)	(-27.3%)	(-0.2%)	(4.3%)	(-4.7%)

SHARP

S-3

# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	229.0	223.4	452.5	229.0
スマートオフィス	271.4	310.5	582.0	329.6
ユニバーサルネットワーク	146.1	165.7	311.8	154.2
ブランド事業	646.6	699.7	1,346.4	712.9
ディスプレイデバイス	350.7	264.2	614.9	267.9
エレクトロニックデバイス	183.3	217.9	401.2	133.1
デバイス事業	534.0	482.1	1,016.1	401.0
小計	1,180.6	1,181.8	2,362.5	1,113.9
調整額	-22.4	-18.2	-40.6	-17.5
合計	1,158.2	1,163.6	2,321.9	1,096.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	14.5 (6.3%)	13.2 (5.9%)	27.7 (6.1%)	8.3 (3.6%)
スマートオフィス	9.9 (3.7%)	19.7 (6.4%)	29.6 (5.1%)	18.2 (5.5%)
ユニバーサルネットワーク	3.0 (2.1%)	5.8 (3.5%)	8.8 (2.8%)	3.6 (2.4%)
ブランド事業	27.4 (4.2%)	38.8 (5.6%)	66.3 (4.9%)	30.2 (4.2%)
ディスプレイデバイス	-29.6 (-8.5%)	-53.6 (-20.3%)	-83.2 (-13.5%)	-24.8 (-9.3%)
エレクトロニックデバイス	4.3 (2.4%)	8.7 (4.0%)	13.1 (3.3%)	4.6 (3.5%)
デバイス事業	-25.2 (-4.7%)	-44.8 (-9.3%)	-70.1 (-6.9%)	-20.1 (-5.0%)
小計	2.1 (0.2%)	-5.9 (-0.5%)	-3.7 (-0.2%)	10.0 (0.9%)
調整額	-8.0	-8.5	-16.5	-9.6
合計	-5.8 (-0.5%)	-14.4 (-1.2%)	-20.3 (-0.9%)	0.4 (0.0%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

## 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ&エナジー	109.2	119.8	109.2	114.1	112.4	116.6	116.4
スマートオフィス	126.6	144.8	150.2	160.2	155.6	173.9	163.8
ユニバーサルネットワーク	65.7	80.3	92.5	73.1	78.5	75.6	111.5
ブランド事業	301.5	345.0	352.1	347.6	346.6	366.2	391.8
ディスプレイデバイス	171.3	179.4	126.3	137.8	125.2	142.6	132.0
エレクトロニックデバイス	79.5	103.8	137.0	80.8	69.8	63.2	44.4
デバイス事業	250.8	283.2	263.3	218.7	195.1	205.8	176.5
小計	552.4	628.2	615.5	566.3	541.8	572.1	568.3
調整額	-11.1	-11.2	-9.1	-9.1	-9.8	-7.6	-6.8
合計	541.2	617.0	606.4	557.2	531.9	564.4	561.5

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

## 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ&エナジー	7.0 (6.4%)	7.4 (6.2%)	5.3 (4.9%)	7.8 (6.9%)	4.7 (4.3%)	3.5 (3.1%)	5.4 (4.7%)
スマートオフィス	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	10.7 (6.7%)	8.4 (5.4%)	9.8 (5.6%)	9.8 (6.0%)
ユニバーサルネットワーク	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	1.2 (1.7%)	1.1 (1.4%)	2.5 (3.3%)	14.1 (12.7%)
ブランド事業	11.9 (4.0%)	15.5 (4.5%)	19.0 (5.4%)	19.8 (5.7%)	14.3 (4.1%)	15.8 (4.3%)	29.4 (7.5%)
ディスプレイデバイス	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-33.8 (-24.6%)	-17.1 (-13.7%)	-7.6 (-5.4%)	-4.8 (-3.7%)
エレクトロニックデバイス	1.9 (2.5%)	2.4 (2.3%)	7.5 (5.5%)	1.2 (1.5%)	2.1 (3.1%)	2.5 (4.0%)	-0.1 (-0.3%)
デバイス事業	-15.3 (-6.1%)	-9.9 (-3.5%)	-12.2 (-4.6%)	-32.6 (-14.9%)	-15.0 (-7.7%)	-5.1 (-2.5%)	-5.0 (-2.8%)
小計	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-12.8 (-2.3%)	-0.6 (-0.1%)	10.7 (1.9%)	24.4 (4.3%)
調整額	-3.6	-4.4	-4.5	-3.9	-5.1	-4.4	-4.5
合計	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-16.7 (-3.0%)	-5.8 (-1.1%)	6.2 (1.1%)	19.9 (3.5%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

## 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023			FY2024		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資	22.3	25.2	47.6	14.4	35.6	50.0
内:ディスプレイ	10.3	9.4	19.8	6.1	9.0	15.1
減価償却費	29.2	31.2	60.5	21.8	32.2	54.0
研究開発費	36.7	36.2	73.0	39.1	40.9	80.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2023			FY2024	
	上期	下期	通期	上期	通期
米ドル	141.00	148.25	144.62	152.61	153.00
ユーロ	153.38	160.20	156.79	165.91	163.00

## 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
設備投資	8.9	13.3	13.4	11.8	6.2	8.1	5.3
内:ディスプレイ	4.0	6.3	5.8	3.6	2.5	3.5	1.5
減価償却費	14.1	15.1	15.6	15.5	11.0	10.8	10.7
研究開発費	17.6	19.1	18.0	18.2	17.2	21.9	18.2

(単位:円)

平均為替レート	FY2023				FY2024		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
米ドル	137.37	144.63	147.89	148.60	155.89	149.32	152.44
ユーロ	149.46	157.29	159.10	161.30	167.88	163.95	162.59

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)など

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、  
ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

**SHARP**

# SHARP

Be Original.

